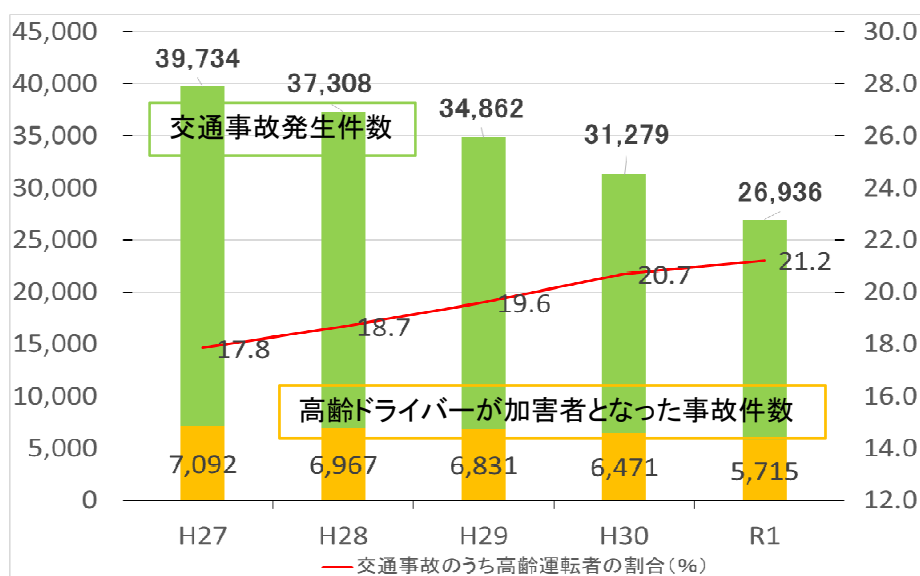


高齢ドライバーのみなさん、安全運転を心がけましょう！

高齢ドライバーによる事故の割合が増加しています！

県内の交通事故発生件数のうち高齢ドライバーが加害者となった件数とその割合



県内の交通事故発生件数は減少を続けています。65歳以上の高齢ドライバーによる事故発生件数も減少傾向にありますが、全体に占める割合は年々増加しています。

高齢ドライバーによる運転操作ミスの割合は、高齢者以外の約2倍！

○高齢ドライバーによる死亡事故の割合(法令違反別)

- 1位 安全不確認 33.6%
- 2位 前方不注視 19.3%
- 3位 操作不適 15.0%
(運転操作ミス)

○65歳未満の運転者による死亡事故の割合(法令違反別)

- 1位 安全不確認 35.9%
- 2位 前方不注視 29.0%
- 3位 操作不適 7.5%
(運転操作ミス)



平成30年の高齢ドライバーによる死亡事故における操作不適(運転操作ミス)の割合は、高齢ドライバー以外による運転操作ミスの割合の約2倍となっています。

また、年齢が上がるにつれて、運転操作ミスの割合が増加する傾向が見られ、特にブレーキとアクセルの踏み間違いの割合が高くなっています。

これらは、加齢による運転技能の低下が運転操作ミスの原因と考えられています。

**事故を起こさないためのマイルールづくりを。
運転に不安を感じたら、「補償運転」「運転免許の自主返納」**

交通事故をなくす福岡県県民運動本部